

千年先の鎌倉へ、はじめの一步

東アジア文化都市

2025 鎌倉



CULTURE CITY OF EAST ASIA
2025 KAMAKURA



東アジア文化都市

2025 鎌倉

CULTURE CITY OF EAST ASIA

2025 KAMAKURA

千年先の鎌倉へ、はじめの一步









東アジア文化都市2025鎌倉市 事業報告書

千年先の鎌倉へ、はじめの一步

CONTENTS

| | |
|---------|-----|
| 主催者あいさつ | 10 |
| 開催概要 | 12 |
| 開幕式 | 22 |
| 交流 | 30 |
| 千年先の鎌倉へ | 66 |
| 閉幕式 | 86 |
| 助成・認証事業 | 94 |
| 連携事業 | 122 |
| 広報事業 | 148 |
| 資料 | 156 |





鎌倉市長

松尾 崇

TAKASHI MATSUO

2025年、私たち鎌倉市は「千年先の鎌倉へ、はじめの一步」の言葉を胸に、鎌倉の未来を担う子どもたちにスポットライトを当て、中国マカオ特別行政区・湖州市、韓国安城市とともに東アジア文化都市事業に取り組み、誰もが互いを尊重し合い、支え合い、多様性を認め合う共生社会の実現、世界平和と心の安寧を願う祈りを志してまいりました。そして1年間の取り組みを通じて、京都市をはじめとした国内の文化先進都市との連携が育まれたことは揺るぎない成果であると自負しています。

文化は、あらゆる国難に堪え、乗り越える力と支えとなった「心の財産」であり、人間の持つ優れた創造のもとで誕生した、一人の力ではなしえない奇跡の賜物です。鎌倉に流れた長い歴史の重みと、その歴史を紡いできた人々の想いが織りなす、伝統と革新を繰り返す「文化の力」、「文化が人と人をつなぐ力」を信じ、先人から受け継いできた、鎌倉の地に根ざした文化を守り、育て、次の世代に手渡していくことこそ、今の鎌倉を生きる私たちの使命であると考えています。

結びに、本事業にご協力を賜りました市民、団体並びに関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。



文化庁長官

都 倫一

SHUNICHI TOKURA

「東アジア文化都市2025鎌倉市」事業が成功裏に終了したことを、大変喜ばしく思います。鎌倉市をはじめ、多くの関係者の皆様のご協力とご尽力に心より感謝申し上げます。

鎌倉市は、「千年先の鎌倉へ、はじめの一步」をテーマに、中国のマカオ特別行政区や湖州市と韓国の安城市に加え、能登半島地震の影響により2024年の東アジア文化都市の事業実施が困難であった石川県とも緊密に連携し、様々な文化交流に取り組みられました。

鎌倉が歴史的に発展を遂げたきっかけの一つは、東アジア各国から多様な文化がもたらされ、現在まで受け継がれてきたことにあります。そして、「東アジア文化都市」事業を通じて、これまで鎌倉市が培ってきた文化の魅力を確認し、次の世代へとつなげていく貴重な機会になったと確信しています。

「東アジア文化都市2025鎌倉市」は閉幕しましたが、今後も鎌倉市の魅力を世界に発信し、文化交流の更なる発展に貢献することを祈念しています。

開催概要

千年先の鎌倉へ、 はじめての一步

約千年前に誕生した鎌倉の文化は、大陸との交流をゆるやかに繰り返しながら海と山に囲まれた美しい風土のなかで独自の雰囲気醸し出すまちへと育てられた。

千年もの豊かさが、この地で暮らす人や訪れる人の心をつかみ、温め、ほぐしてくれる。

“鎌倉”を、もう千年先へ継承していくため

いま、わたしたちがすべきこと、

しておきたいことは何なのか？

未来を担う子どもたちが、

いつか自分の子どもたちに

胸をはれるまちにする。

そこは豊かな自然と文化が調和し、

人々の平和への願いとやさしさに溢れたまち。

新たなる千年の歴史が、

あなたの一步からはじまる。



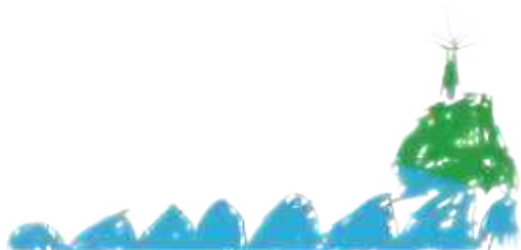
● 東アジア文化都市とは？

「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指します。

また、東アジア文化都市に選定された都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。

● なぜ鎌倉市が東アジア文化都市に？

東アジアの国々とともに発展してきた鎌倉のまちの成り立ちや今に引き継ぐ多様な生活文化を再認識・共有し、さらに磨きをかけることで豊かな文化や共生の精神を次代に伝えとともに、東アジアから世界の恒久平和への祈りを発信する機会としていくためです。



● これまでの開催都市一覧

2014

- ▶ 日本 横浜市
- ▶ 中国 泉州市
- ▶ 韓国 光州広域市



2015

- ▶ 日本 新潟市
- ▶ 中国 青島市
- ▶ 韓国 清州市



2016

- ▶ 日本 奈良市
- ▶ 中国 寧波市
- ▶ 韓国 濟州特別自治道



2017

- ▶ 日本 京都市
- ▶ 中国 長沙市
- ▶ 韓国 大邱広域市



2018

- ▶ 日本 金沢市
- ▶ 中国 ハルビン市
- ▶ 韓国 釜山広域市



2019

- ▶ 日本 豊島区
- ▶ 中国 西安市
- ▶ 韓国 仁川広域市



2020-2021

- ▶ 日本 北九州市
- ▶ 中国 揚州市(2020年)、紹興市・敦煌市(2021年)
- ▶ 韓国 順天市



2022

- ▶ 日本 大分県
- ▶ 中国 温州市・済南市
- ▶ 韓国 慶州市



2023

- ▶ 日本 静岡県
- ▶ 中国 成都市・梅州市
- ▶ 韓国 全州市



2024

- ▶ 日本 石川県 事業中止
- ▶ 中国 大連市・瀋陽市
- ▶ 韓国 金海市

● かまくらみらいフォント

鎌倉市の幼稚園・保育園に通う5歳の子どもたちが書いてくれた文字と、彼らの目線から見て、鎌倉市を象徴するイラストを集めて「かまくらみらいフォント」をつくりました。世界にふたつとない個性あふれるひとつひとつの文字とイラストが、鎌倉の未来へ向けたはじめての一步だと考えています。

※本プロジェクトのロゴは「かまくらみらいフォント」でつくられています。



● PR動画東アジア文化都市2025鎌倉市「私の好きな鎌倉」

2024年度鎌倉市ゆめひかる文化芸術子ども表彰を受けた子どもたちをはじめとする、鎌倉市に住む方に市内各所でインタビューを行い、「私の好きな鎌倉」をテーマにPR動画にご出演いただきました。



◎動画はこちらから



● 日中韓文化大臣会合

会合では、文化交流が3か国の未来志向の関係構築において極めて重要との認識を改めて共有し、(1)東アジア文化都市のほか、将来世代を含めた文化交流のより一層の推進、(2)グローバルな公共財としての文化が持つ価値や役割の確認と、その向上に向けた連携強化、(3)クリエイター等の創造環境の充実に関する連携強化などの議論の成果を、「2024京都宣言」として取りまとめ署名をしたほか、5月に行われた日中韓サミットにおいて、2025年及び2026年が3か国の「文化交流年」に指定されたことを踏まえ、「文化交流年」の実施に向けた協力覚書の署名を行いました。

また、2025年東アジア文化都市として日本は鎌倉市、中国はマカオ特別行政区及び湖州(こしゅう)市、韓国は安城(アンソン)市が正式に選定され、2025年東アジア文化都市宣布式を開催し、3か国代表から各都市代表に選定証書の贈呈が行われました。



| | | |
|---|---|---------------|
| 日 | 程 | 2024年9月12日(木) |
| 会 | 場 | 国立京都国際会館(京都市) |

プログラム

東アジア文化都市2025鎌倉市では、東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会が主催する「特別事業」、「交流事業」、鎌倉市等が主催する「連携事業」のほか、市民団体等が主催する「助成事業」、「認証事業」を展開しました。

特別 特別事業

東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会が主催し、鎌倉で開催される開幕式・閉幕式や、東アジア文化都市に選定されたことを記念した文化・芸術イベント等を実施することで、市民や来訪者が鎌倉の魅力や東アジアの歴史・文化のつながりを再認識し、世界平和への願いを共有・発信する機会を創出する事業です。

交流 交流事業

東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会が主催し、中国(マカオ特別行政区、湖州市)及び韓国(安城市)で行われる開幕式・閉幕式や伝統芸能、青少年交流などの各種イベントに鎌倉市の行政関係者や芸能団体を派遣することで、都市間交流を通じた相互理解を深める事業です。

助成 助成事業

「東アジア文化都市2025鎌倉市」を市全体で盛り上げていくため、東アジア文化都市の趣旨に合致し、鎌倉市の文化芸術の継続的な発展に寄与すると認められる市民団体等が主体となる事業や活動を募集し、東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会が助成金を交付する事業です。

認証 認証事業

「東アジア文化都市2025鎌倉市」を市全体で盛り上げていくため、東アジア文化都市の趣旨に合致し、鎌倉市の文化芸術の継続的な発展に寄与すると認められる市民団体等が主体となる事業や活動を募集し、東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会が認証を行うことで、ロゴマークの使用やSNS等での情報発信をはじめとした広報支援を行う事業です。

連携 連携事業

「東アジア文化都市2025鎌倉市」を市全体で盛り上げていくため、東アジア文化都市の趣旨に合致する市の主催・共催事業、補助金・負担金事業、指定管理事業などと東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会が連携し、ロゴマークの使用やSNS等での情報発信をはじめとした広報支援を行う事業です。

● 開催都市



中国 マカオ特別行政区

 人口 約69万人 面積 約33.3km²

マカオ特別行政区は、中国大陸南岸の珠江河口（珠江デルタ）に位置する都市です。旧ポルトガル領土のため、東西文化が交差するエキゾチックな街並みが魅力で、現在はカジノとモータースポーツや20以上の歴史的建造物と広場で構成される世界遺産を有する観光地としても知られています。



中国 湖州市（こしゅう）

 人口 約347万人 面積 約5,820km²

湖州市は、中華人民共和国浙江省の北部、中国随一の長江下流域にある都市です。宋の時代には、鎌倉にも影響を与えた「江南文化」が栄えました。古くから養蚕業が発達していたため、絹や毛筆の絶品と言われる湖筆が有名で、「絹の府、魚米の郷、文物の宝庫」と呼ばれています。



韓国 安城市（アンソン）

 人口 約20万人 面積 約553.4km²

安城市は、大韓民国京畿道の南部にある都市です。韓国語で「おあつらえ向き」を意味する慣用句「안성맞춤（アンソンマッチム）」は、かつて安城で精度の高い真鍮製品が生産されており、安城の職人に注文すると注文どおりの器がつけられたことからこのような表現ができたと言われています。



開幕式

環境にやさしい公共交通機関に
より多くの方々に利用して、CO2削減に貢献します
未来につなぐ 美しい地球



特別

5.20 TUE

鎌倉市開幕式



中国(マカオ特別行政区・湖州市)、韓国(安城市)に続き、鎌倉市における東アジア文化都市の開幕式を開催しました。第1部の開幕式典では、開幕宣言や各都市代表の挨拶、第2部の日中韓文化芸術交流祭では、各都市の特色ある伝統芸能が披露され、会場の大きな拍手と笑顔とともに東アジア文化都市2025鎌倉市が華々しく幕を開けました。

| | |
|-----------|--|
| 会 場 | 鎌倉芸術館大ホール |
| 来 場 者 | 750人 |
| 実 施 主 体 | 東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会、鎌倉市、文化庁 |
| 協 力 団 体 等 | 鎌倉篤職組合木遣保存会、鎌倉芸能連盟(泉流)、鎌倉市詩吟詩舞連盟、鎌倉囃子山崎保存会 |



5月18日 レセプションを実施し開幕式に向け交流を深めました。



5月19日 各都市の代表の皆さんに鎌倉の様々な魅力を体験していただきました。



5月19日 日本のお茶文化に触れていただきました。



プログラム

第1部 開幕式典

1. オープニング公演

木遣り・梯子乗り(鎌倉鷹職組合木遣保存会)

2. 主催者挨拶

松尾 崇 : 鎌倉市長

都倉俊一 : 文化庁長官(ビデオメッセージ)

3. 各都市挨拶

マカオ特別行政区、湖州市(ビデオメッセージ)、安城市

第2部 日中韓文化芸術交流祭

中国(マカオ特別行政区、湖州市)・

韓国(安城市)・日本(鎌倉市)

各都市芸能団による公演

特別公演 オペラ歌手による平和への 祈りを込めたステージ

【オペラ】森麻季 【ピアノ】山岸茂人



梯子乗り(鎌倉市)



静の舞(鎌倉市)



広東オペラ(マカオ特別行政区)



掃蚕花地芸術(湖州市)



ナムサダンノリ(安城市)





関係者の感想

金井 康悦さん 鎌倉鳶職組合木遣保存会



私の使命として梯子乗り・纏振り・木遣りを後世に伝えていくための稽古に励んでいます。今後、若手に引き継いでもらえたらいいと思っています。

泉 朱輝さん 鎌倉芸能連盟(泉流)



鎌倉では日常の中に武士の文化や和の文化が溢れていると思います。鶴岡八幡宮では流鏝馬があったり、日本舞踊の「静の舞」が踊られていたりします。そのような文化をこれからもずっと続けていってくれたらなと思っています。

梅澤 宏和さん 鎌倉囃子山崎保存会(会長) / 高井 久雄さん 鎌倉市郷土芸能保存協会(副会長)



5月18日、東アジア文化都市2025鎌倉の開幕式レセプションにご出席の皆様を、お囃子の演奏でお出迎えをし、また、歓談の途中では、お囃子の演奏に合わせて子供神輿を披露致しました。鎌倉市内の山あいの小さな村の祭りを、世界に発信できたことは、当囃子会にとりまして大変名誉なことであり、会員一人一人も喜びを感じております。今後もこの伝統を末永く継承し、文化交流を通して、日中韓三国の友好が益々深まりますことを、ご祈念致します。

森 真依子さん おもてなしサポーター(市職員)



国際交流に関心があり、中韓おもてなしサポーターに参加しました。約2日間にわたり、潮州市芸能団のサポーターとして十数名の女性メンバーに同行しました。控室での楽しそうな会話やはじける笑顔、ステージ上での養蚕をテーマとした優美な踊りと真剣に取り組む姿を間近で拝見し、ファンになりました。中国語は挨拶程度しか分かりませんでしたが、応援の気持ちを伝えたいと思い、日本のアニメの絵と中国語で「頑張れ!」と記載した用紙をお見せしたところ、大変喜んでいただけました。やっぱり伝えたいという思いは大切ですね。

小室 嘉奈子さん おもてなしサポーター(市職員)



開幕式にあわせて来日されたマカオ行政団のみなさんと、「おもてなしサポーター」として3日間一緒に過ごしました。鎌倉の文化や歴史、行政の取組にも非常に興味を持ってくださったり、喜んでくださっている姿を見て、市職員としても誇らしい気持ちになりました。今もお互い連絡をとるなど、交流が続いていることを嬉しく思います。



📺 ダイジェスト動画はこちらから



交流



交流
マカオ特別行政区

1.31 FRI

マカオ春節パレード



マカオ政府観光局が主催する旧正月パレードで、マカオを代表する国際イベントの1つです。マカオをはじめ中国本土、香港、海外のパフォーマンスチームが約3kmのコースをフロートとともに練り歩きました。2025年は、東アジア文化都市に選定された日中韓4都市の団体も参加し、文化交流を盛り上げました。鎌倉市からは、江戸の町火消しの象徴「纏」を伝承する霊光寺田辺睦會の34人が参加し、マカオの街に日本（鎌倉）の粋な伝統文化を届け、国際色豊かな文化交流を象徴する催しとなりました。



会場 | サイヴァン湖広場ほか(中国・マカオ特別行政区)

実施主体 | 中国・マカオ特別行政区

協力/派遣団体等 | 霊光寺田辺睦會 34人

池田 慎さん 霊光寺田辺睦會



舞台裏の待機場場では各国のパフォーマー達と交流することが出来ました。みんなとてもフレンドリーで笑顔で、暖かい空気に包まれていました。表舞台のパフォーマンスだけではなく、舞台裏の交流もとても大事だと実感しました。世界は実際の戦争や貿易戦争など争いが絶えない今こそお互いをリスペクト出来る文化交流をより進めて、平和のために努力するべきだと思います。

交流
マカオ特別行政区

3.23 SUN

国際パレード・開幕式



中国・マカオ特別行政区で行われた国際パレードと東アジア文化都市の開幕式に、鎌倉手作り甲冑 とんぼの会の13人が参加しました。会員一人ひとりが数か月かけて段ボールで制作した甲冑を身に着け、「武家の古都・鎌倉」をPRする武者行列を披露しました。パレード中の抜刀のシーンでは会場が盛り上がり、「サムライ!」、「クール!」といった声が飛び交いました。他のパレード参加者との交流も生まれ、東アジア文化都市の開幕式典にふさわしい国際色豊かなイベントでした。



| | |
|----|-------------------------|
| 会場 | サイヴァン湖広場ほか(中国・マカオ特別行政区) |
|----|-------------------------|

| | |
|------|-------------|
| 実施主体 | 中国・マカオ特別行政区 |
|------|-------------|

| | |
|----------|-------------------|
| 協力/派遣団体等 | 鎌倉手作り甲冑 とんぼの会 13人 |
|----------|-------------------|

進藤 延二さん 鎌倉手作り甲冑 とんぼの会



マカオ歴史地区の細い路地を埋め尽くした人々の中を、サムライとして歩きました。多くの人と交流したことは、忘れられない思い出です。鎌倉の武家文化を象徴する甲冑姿を披露できてよかったです。

交流
マカオ特別行政区

4.18 FRI

観光局訪問団・鎌倉市訪問



中国・マカオ特別行政区の政府観光局が鎌倉市を表敬訪問しました。鎌倉彫の体験や建長寺、鶴岡八幡宮を訪ね、鎌倉の歴史や文化、自然の魅力を体感していただきました。鎌倉彫体験では、マカオを象徴する聖ポール天主堂跡の姿や「澳門」の文字を図柄にするなど、個性豊かな作品が完成しました。鎌倉を代表する社寺仏閣や伝統工芸の魅力を体感していただいたことで、両都市の友好が一層深まる意義深い日となりました。



| | |
|---------|----------------------|
| 会 場 | 鎌倉彫工芸館、榎亭、建長寺、鶴岡八幡宮 |
| 来 訪 者 | 13人 |
| 実 施 主 体 | 東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会 |

星 悟さん 伝統鎌倉彫事業協同組合



マカオ政府の皆様は曲線の彫りにとても苦労しており、職人がサポートすると「オオ!」と歓声上がり、また、彫り終えたプレートに職人が若干の修正を加えて完成した作品には「ワンドフル!」の声響き渡りました。マカオ政府の皆様は自分の作品をお隣同士で見せ合い、作品に込めた気持ちを笑顔で会話している風景はこれまでの私達を感じるものが無かったとても素晴らしい交流体験でした。言葉の違い、文化の違いを超越した有意義な時間を作って頂きました。職人一同感謝しております。有難うございました。

交流
マカオ特別行政区

10.3 FRI - 10.5 SUN 獅子舞フェスティバル



中国・マカオ特別行政区で開催された「第12回国際獅子舞選手権2025MGMカップ&獅子舞フェスティバル」に鎌倉市の小袋谷囃子会が参加しました。伝統的な演目「狂い獅子」を披露したほか、他の東アジア文化都市のチームとともに、地域住民等との交流も行いました。台風の影響で10月5日の公演が中止になるハプニングもありましたが、他都市の獅子舞チームとの交流を通じ、歌や踊り、音楽に国境はないことを認識し、違いを楽しみつつ民俗芸能の魅力を再確認する機会となりました。



| | |
|----------|--|
| 会場 | バラ広場ほか(中国・マカオ特別行政区) |
| 実施主体 | 中国・マカオ特別行政区、MGM China Holdings Limited |
| 協力/派遣団体等 | 小袋谷囃子会 6人 |

田中 徹さん 小袋谷囃子会



初めて見る中国・韓国の獅子舞。その力強さと高度な演技力に圧倒されました。獅子舞の世界はこんなにも面白い! 一方で、私たちの獅子舞にも時代を超えた魅力があり、これからも誇りをもって演じていきたいと思います。他国の代表団との交流も、忘れられない貴重な経験になりました。

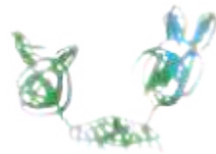
交流
湖州市

3.20 THU

湖州市開幕式



中国・湖州市で行われた東アジア文化都市の開幕式に、鎌倉市詩吟詩舞連盟の6人が参加しました。漢詩に独特の節をつけて歌う詩吟と、袴姿で凛々しく舞う詩舞を披露し、日本の伝統文化の美しさを届けました。演目は祝いの席にふさわしい「富士山を詠ず」。舞台の背景には日本の象徴である富士山が映し出され、中国ルーツの漢詩と日本の舞がコラボレーションした詩吟詩舞は、東アジアの文化のつながりが感じられるパフォーマンスとなり、見る人を魅了しました。



| | |
|----------|-----------------|
| 会場 | 湖州南太湖山庄(中国・湖州市) |
| 実施主体 | 中国・湖州市 |
| 協力/派遣団体等 | 鎌倉市詩吟詩舞連盟 6人 |

木村 鳳鶴さん 鎌倉市詩吟詩舞連盟



水運の交易が栄えた古くからのまち並みは、詩吟で詠われる漢詩の世界そのもので、中国の歴史と文化に肌で触れる貴重な体験となりました。中国がルーツである漢詩と、日本の舞が融合した「吟と舞」の魅力を湖州市にて披露できたことは、私にとって大変貴重な経験でした。

交流
湖州市

8.4 MON - 8.7 THU 青少年文化芸術体験ツアー



鎌倉市の中学生8人が、中国・湖州市で開催された青少年交流イベントに参加しました。湖州市は長江下流域に位置し、宋の時代には鎌倉文化にも影響を与えた「江南文化」の中心地として知られています。参加者は現地で歴史や文化を体験するとともに、中国や韓国の学生たちと交流を深めました。世界農業遺産にも登録された養蚕と養殖のハイブリッドシステムの見学、伝統菓子づくり体験、「湖筆」の工房見学、淡水真珠の採取体験など、さまざまな活動を通じて海外の文化や生活に触れることができました。4日間の交流を通じて、参加者たちは言葉の壁を越えて友情を育み、学びと成長に満ちた貴重な経験を得ることができました。



| | |
|----------|----------------|
| 会場 | 荻港漁庄ほか(中国・湖州市) |
| 実施主体 | 中国・湖州市 |
| 協力/派遣団体等 | 鎌倉市在住中学生 8人 |

参加した中学生



- 私は人見知りなので心配していましたが、周りが積極的に中国や韓国の友達に話しかけていたので、自分も殻を破ってがんばろうと思いました。そして「伝えたい」という気持ちさえあれば、言葉の違いを越えて相手と心を通わせることができると実感しました。
- 元々中国の文化に興味を持っていましたが、実際に交流してみると知らないことが多く、さらに興味が広がりました。イメージを勝手に決めつけるのではなく、自分の肌で感じることで目で見ることが大切だと気づきました。

交流
安城市

4.25 FRI 安城市開幕式



韓国・安城市で行われた東アジア文化都市の開幕式に、鎌倉能舞台が参加しました。安城市は伝統芸能のナムサダンノリを、マカオ特別行政区は広東オペラを、湖州市は稲穂龍舞を披露しました。鎌倉能舞台は、子孫繁栄を祝う曲として知られる演目「猩々」を舞い、ユネスコ無形文化遺産である日本文化の深淵な魅力を披露しました。各都市の伝統芸能が安城市に集い、今後の交流を進めていく上での重要な一歩となる文化公演でした。



| | |
|----|-----------------------|
| 会場 | 安城マツチュムアートホール(韓国・安城市) |
|----|-----------------------|

| | |
|------|--------|
| 実施主体 | 韓国・安城市 |
|------|--------|

| | |
|----------|-----------|
| 協力/派遣団体等 | 鎌倉能舞台 11人 |
|----------|-----------|

中森 貫太さん 鎌倉能舞台



能の装束と面で舞台に出た瞬間、観客席からのどよめきが伝わってきたのが印象に残っています。まちはのんびりと緑豊かでしたが、会場は近代的で舞台設備も素晴らしかったです。



鎌倉市の中学生12人が韓国・安城市で開催された青少年交流イベントに参加しました。テーマは「ユースコネクト」。安城、マカオ、湖州3都市の中学生とともに3泊4日の交流活動を行いました。4都市混合のチームに分かれ、韓国の伝統的な遊びや民謡体験をはじめ、韓国語講座、調理博物館の見学、木工体験など様々な活動に参加したほか、安城市の伝統芸能であるナムサダンノリも観覧し、異文化への理解を深めました。言葉の壁を越えて深めた日中韓の友好の絆は、渡航した中学生の胸に刻まれる忘れられない思い出になりました。



会 場 | 韓京国立大学ほか(韓国・安城市)

実 施 主 体 | 韓国・安城市

協力/派遣団体等 | 鎌倉市在住中学生 12人

参加した中学生



- 最初は言葉が大きな壁だと思っていましたが、みんながとてもフレンドリーで心からコミュニケーションを楽しむことができました。たった3泊4日でもみんなと深く仲良くなれたことが一番の思い出です。この思い出は一生忘れません。またみんなで集まれる日を楽しみにしています。
- 初めての海外で不安なことばかりでしたが、楽しいプログラムのおかげで不安も吹き飛びました。今回のイベントのおかげでかけがえのない思い出、そして友達をつくることができました。

交流
安城市

8.30 SAT

安城市音楽祭



韓国・安城市で開催された音楽祭にメトロポリタン・ワノートバンドが参加しました。本音楽祭は、日中韓それぞれの固有の伝統音楽を現代的な感覚で再解釈し、調和のとれた舞台を披露することをテーマに開催されました。メトロポリタン・ワノートバンドは「さくら」や「花笠踊り」など、「和」を感じさせる楽曲から始まり、韓国の伝統民謡「トラジ」も披露し、会場全体が一体となって盛り上がりました。フィナーレでは、日中韓の共演による「さくら」と「アリラン」のメドレーが披露され、会場は大きな熱気に包まれました。



| | |
|----------|-----------------------|
| 会 場 | 安城マツチュムアートホール(韓国・安城市) |
| 実 施 主 体 | 韓国・安城市 |
| 協力/派遣団体等 | メトロポリタン・ワノートバンド 4人 |

宮内 基弥さん メトロポリタン・ワノートバンド



安城市の音楽会は感動的でした。我々の演奏するトラジを喜びを持って歌ってくれた観客の方々、現地の音楽家達、そしてサポートくださった安城と鎌倉、両市のスタッフの方々と交流はかけがえない思い出です。感動を通じたつながりは純粹でした。そこに、東アジア文化都市事業がこれまでもこれからも掲げる理念を見た気がします。すべての関係者の方々に素直な気持ちで感謝いたします。

交流
安城市

9.12 FRI

中学生教育交流



韓国・安城市の中学生8人が鎌倉市立御成中学校を訪問しました。3年生による合唱祭のリハーサルを見学した後、2年生との交流活動が行われました。2年生の教室では、日本語での自己紹介に加え、K-popダンスやテコンドーのパフォーマンスを披露し、和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。さらに、学校給食を一緒に食べながら懇談する時間も設けられ、生徒同士が自然に会話を交わしました。今回の訪問は、互いの文化や価値観を理解し、尊重する意識を高める貴重な機会となりました。



| | |
|---------|------------------|
| 会 場 | 鎌倉市立御成中学校 |
| 参 加 者 | 13人(内、御成中学校生徒5人) |
| 実 施 主 体 | 韓国・安城市 |
| 協 力 | 鎌倉市立御成中学校 生徒会 |

茂木 麗さん 御成中学校(生徒会長)



2年生の教室に来て、安城市の魅力についてプレゼンテーションをしてくれたり、K-popダンスを踊ったり、テコンドーを見せてくれました。もし、また安城市から来てくれる機会があれば、今度は鎌倉市の魅力や流行りの日本語などを教えてあげたいと思いました。このような機会を通して、自分とは違う国の人たちと会話をする中で、さまざまな違いに触れることで、他の国に対する好奇心を持てるのではないかと思います。またこういった機会があれば積極的に参加したいです。

特別
安城市

9.15 MON - 9.18 THU

青年伝統文化交流



韓国・安城市から日本文化に関心のある大学生及び専門学校の学生10人を鎌倉にお招きしました。鎌倉が培ってきた流鏝馬の観覧や寺院での坐禅体験など様々な伝統文化や生活文化の体験を通して、日本文化への理解を深めました。プログラムには鎌倉女子大学の学生が帯同したほか、同校にて茶道体験や浴衣着付け体験等の課外活動、学生との意見交換会を実施することで、お互いの文化の違いや共通点に気づく機会とし、相互理解を深めました。



プログラム

DAY1 鎌倉到着・開講式

DAY2 高德院、鶴岡八幡宮例大祭/流鏝馬観覧、鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム見学、小町通り散策

DAY3 円覚寺 (境内見学、坐禅体験)

鎌倉女子大学山ノ内学舎 (茶道体験・茶道部)

鎌倉女子大学大船キャンパス (着付け体験・着物文化部、沖縄エイサー体験・沖縄舞踊愛好会、薙刀体験・薙刀部、書道体験・書道部、意見交換会、懇親会)

DAY4 帰国

会 場 | 高德院、鶴岡八幡宮、円覚寺、鎌倉女子大学

参 加 者 | 66人(内、鎌倉女子大学生56人)

実 施 主 体 | 東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会

参加した大学生



- 着付け体験や書道体験が楽しかった!もっと日本の伝統的な文化の体験をしてみたいです。また、鎌倉の学生の皆さんが日本の文化について説明してくれました。観光旅行ではなく、文化交流ができて大変有意義でした。(安城市)
- 韓国の方々との交流を通じて、改めて鎌倉の文化に触れることができました。今はインターネットで何でも調べられますが、実際に関わることで得られる知識の方が多いため、今後もこのような機会があれば、ぜひ参加したいです。(鎌倉女子大学)

交流
安城市

10.11 SAT - 10.12 SUN 安城市バウドギ祭り・閉幕式



バウドギ祭りは、韓国・安城市の伝統芸能である「ナムサダンノリ」をテーマとした、安城市最大級の祭りです。会場には多彩な体験・展示ブースが設けられたほか、ナムサダンノリの公演や海外の民俗芸能公演が行われました。2025年は祭りの開催に併せて東アジア文化都市の閉幕式も実施されました。鎌倉能舞台はバウドギ祭りにて「吉野天人」を披露したほか、閉幕式ではナムサダンノリの音楽に合わせた合同公演に参加し、会場を大いに盛り上げました。



| | |
|----------|---------------------------|
| 会場 | 安城マッチュムランド 屋外ステージ(韓国・安城市) |
| 実施主体 | 韓国・安城市 |
| 協力/派遣団体等 | 鎌倉能舞台 5人 |

中森 健之介さん 鎌倉能舞台



賑やかな音楽とともに動きの激しいパフォーマンスの韓国・安城市ナムサダンの演舞、文化の交流点であった中国・マカオの歌舞といった、日本には滅多に見ることができない地域独特の芸能を見ることができ、刺激を得ることができました。

交流
安城市

11.7 FRI - 11.9 SUN

グローバル工芸フェスティバル



韓国・安城市で開催されたグローバル工芸フェスティバルに鎌倉市から2人の鎌倉彫の工芸家が参加しました。8月に安城市を訪問し、現地の工芸家と11月の展示に向けて打ち合わせを行いました。打ち合わせ後、帰国した工芸家たちは、それぞれ制作活動に取り組み、グローバル工芸フェスティバルの開催にあわせて再び安城市を訪問しました。現地では、各自が制作した作品を組み合わせ、協働作品として展示を行いました。鎌倉彫と韓紙工芸を融合させた作品や、鎌倉彫に釣り竿、花細工を組み合わせた新しい発想による協働作品が完成しました。また、鎌倉彫の単独作品も展示され、来場者の注目を集めました。各都市が得意とする工芸を通じて、交流と相互理解が一層深まる機会となりました。



準備として8月に伝統鎌倉彫事業協同組合の組合員2名が安城市を訪問し、現地の工芸家とともに、11月のフェスティバルで展示する作品についての打ち合わせを行いました。

会場 | 安城市6070思い出の通り(韓国・安城市)

実施主体 | 韓国・安城市

協力/派遣団体等 | 伝統鎌倉彫事業協同組合 2人

穴倉 幸さん 春峰会



韓国・安城市の工芸交流プロジェクトに参加し、初めての他国、他業種の工芸家との協業は不安でしたが、一つのものを作る同じ目的を持つ事で、文化や言葉の壁を超えて交流出来ることを実感しました。このプロジェクトを通して色々な出会いと経験を得て今後の活動に繋げて行きたいと思います。

小泉 五郎さん 山水堂



韓国・安城市の工芸家との交流プロジェクトに参加し、工芸が人と人を自然につないでくれる力をあらためて感じました。言葉や文化は違っても、作品に向き合う眼差しや手仕事への向き合い方には、驚くほどの共通点がありました。同じ工芸に携わる者として、伝統を残し続けることの難しさや迷いに共感する場面も多かったです。工芸が抱える課題は国を越えて通じ合い、その共有こそが次につながる一歩なのだ実感しました。

特別
石川県

8.20 WED - 8.22 FRI 「のとのなつやすみ」



能登半島地震で被災した石川県との文化交流と復興への願いを込め、鎌倉市の子どもたちがカメラのレンズを通して「今の能登」の様子を写しながら、3日間にわたり各地を訪問しました。現地の方々の温かさや地域の魅力に触れながら、被災の現実や復興への歩みに向き合う貴重な体験をしました。2024年の東アジア文化都市に選定されていた石川県は、震災の影響で文化交流事業を実施できませんでしたが、子どもたちの視点から被災地の「いま」を写真に収め、東アジア文化都市の「心のバトン」をつなぎました。



| | |
|----------|----------------------|
| 会 場 | 石川県能登半島(珠州市・能登町など) |
| 実 施 主 体 | 東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会 |
| 協力/派遣団体等 | 鎌倉市内在学の小学生 8人 |

参加した子どもたち



この企画に参加して想像していた能登とはちがう一面をみることができました。悲しんでいる人がいると思ったら、意外と笑顔だったり、スーパーにはいろいろな材料が売っていました。そんな能登の写真をいろいろな人に見てもらえてとても嬉しいです。
能登に家族と一緒にまた行きたいです。

2025 10.1 WED - 2026 1.11 SUN

写真展「のとのなつやすみ」



2024年の東アジア文化都市に選定された石川県は能登半島地震の発生により、事業の中止を余儀なくされました。その石川県から「心のバトン」を鎌倉市が受け取るため、鎌倉市の小学生8人が能登を訪れ、子どもたちの目線で撮影した「今の能登」を紹介する写真展を開催しました。報道では伝わりにくい、被災地の日常や人々のやさしさ、前向きに歩む姿を会場を訪れた人々に伝えました。併せて実施された「#もしのと」という企画では、来場者に「もし能登に行ったらやってみたいこと」をメッセージとして残してもらい、能登への関心や復興支援へのきっかけを広げました。



| | |
|---------|---|
| 会 場 | MUJIcomメトロポリタン鎌倉(2025年10月1日(水)~7日(火)) gallery karden(2025年10月10日(金)~11月3日(月)) 石川県立図書館(2025年12月9日(火)~17日(水)) GR SPACE TOKYO(2025年12月18日(木)~2026年1月11日(日)) |
| 来 場 者 | 569人(鎌倉市内開催のみ) |
| 実 施 主 体 | 東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会 |

「#もしのと」のコメント

- 転校していったのとの友達に会いたいな。
- 1つ1つの景色をじっくり堪能したい。あの写真のお膳を大切な人と一緒に食べたい。素敵な写真でした。感動しました。
- まず、海が見たい。海に入りたい。明るい能登の方たちが印象的でした。私も“今の能登の人たち”の“日常”におじゃましたいな。

交流
石川県

11.5 WED のと かまくら みらいコンサート



2024年の東アジア文化都市であった石川県の震災復興と平和への祈りを込めて、鎌倉市と石川県を音楽でつなぐコンサートを開催しました。室内管弦楽団オーケストラ・アンサンブル金沢が被災者に対する鎮魂の祈りや復興への願いを込めた楽曲を演奏するとともに、鎌倉ジュニアオーケストラの子どもたちと共演による演奏を行いました。前日のリハーサルでは緊張気味だった子どもたちも、プロの演奏家との共演という貴重な機会を満喫し、会場はあたたかな雰囲気になりました。



| | |
|----------|------------------------------|
| 会場 | 鎌倉芸術館小ホール |
| 参加者(来場者) | 340人 |
| 実施主体 | 東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会 |
| 協力/派遣団体等 | オーケストラ・アンサンブル金沢、鎌倉ジュニアオーケストラ |

プログラム

1. 「のとなつやすみ」写真披露・プレゼンテーション
2. 石川県知事 馳浩氏 ビデオメッセージ
3. 円覚寺管長 横田南嶺氏 ビデオメッセージ
4. 京都市長 松井孝治氏 挨拶
5. 鎌倉市長 松尾崇 挨拶
6. オーケストラ・アンサンブル金沢 演奏
 - 祈り、そして光-能登半島地震犠牲者の鎮魂として/池辺晋一郎
 - 交響的素描「石川」-加賀と能登の歌による より 海の子/徳山美奈子
 - 交響曲第41番ハ長調K.551「ジュピター」/モーツァルト
 - オペラ「禪」より オ・ワンダフル/渡辺俊幸
7. オーケストラ・アンサンブル金沢×鎌倉ジュニアオーケストラ 共演
 - アルルの女 第2組曲より間奏曲・ファランドール/ビゼー

▶ リハーサル映像はこちら





アビゲイル・ヤングさん オーケストラ・アンサンブル金沢 第1コンサートマスター



鎌倉の若い音楽家の皆さんと共演できたことは、大変光栄でした。皆さんは十分な準備を重ね、自信をもって演奏に臨んでくださいました。決して簡単ではない作品でしたが、その高い演奏水準に深く感銘を受けました。隣に座っていた若い女性は、自信と情熱をもってオーケストラを率い、緊張感の中でも皆さんは冷静さを保ちながら見事に演奏していました。

プロの音楽家が若い演奏家の皆さんと共演するこのプロジェクトは非常に感動的で、そのひたむきな情熱に大いに刺激を受けました。演奏会後に感謝の気持ちを込めて用意して下さったプレゼントにも、心から感動しました。いつかまたご一緒できることを願っています。

岩崎 遥さん 鎌倉ジュニアオーケストラ コンサートマスター



プロの方と演奏するのは初めてで、最初はとても緊張していましたが、温かく声をかけてくださり、安心して楽しく演奏することができました。隣で演奏させていただく中で、皆様の熱い演奏を肌で感じ、改めて音楽の楽しさを実感しました。皆様の演奏を目標に、これからも一生懸命練習に励んでいきたいと思えます。貴重な機会をありがとうございました。

COLUMN



文化がつなぐ都市交流

鎌倉市の松尾市長は、石川県知事と京都市長を鎌倉にお招きし、文化都市が果たすべき役割について意見を交わしました。対談を通じて日本を代表する文化都市が互いに手を携え、世界に発信していきたいという想いを共有しました。



松尾 崇 市長

石川県の想いを引き継ぐ気持ちで東アジア文化都市に手を挙げました。オーケストラ・アンサンブル金沢の鎌倉公演は画期的な交流であり、今後は互いの歴史的・文化的都市としての強みを生かした交流を深めていきたいです。

馳 浩 石川県知事

加賀前田家が残した鎌倉文学館で会談ができたことに感謝します。明治以降、石川県と鎌倉市に深い人的な繋がりがあったことを思えば、子どもたちの交流事業を通じて両都市のゆかりを感じてもらいたいです。

松尾 崇 市長

「伝統を守るためには革新が必要である」という言葉を大切にしています。東アジア文化都市事業を一つのきっかけとして、鎌倉の文化芸術、歴史的な価値や意義を改めて見直しながら、チャレンジしていきたいです。

松井 孝治 京都市長

京都には鎌倉から入ってきた文化が数多く存在し、それらが室町文化にもつながっています。京都の文化の一つの源流である東の鎌倉と西の京都が「コア」都市となって、伝統と革新の融合に取り組みたら興味深いです。



千年先の鎌倉へ



特別

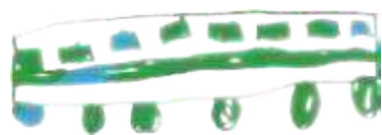
11.5 WED - 11.13 THU

平和への祈り—平山郁夫



平山郁夫《西域の馬》1978年 高徳院蔵

創作活動と文化財保護活動を通じ、中国をはじめとした東アジア地域との交流を盛んに行った鎌倉の日本画家である平山郁夫氏の足跡と作品を紹介する企画展を開催しました。鎌倉と東アジアとの歴史的・文化的なつながり、文化を通じた交流の大切さ、そして、戦後80年の節目に平山氏が生涯にわたり絵筆に託した「平和への祈り」に触れる機会となり、多くの来場者に感銘を与えました。



| | |
|----------|----------------------|
| 会場 | 鎌倉芸術館ギャラリー |
| 来場者 | 1,218人 |
| 実施主体 | 東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会 |
| 協力/派遣団体等 | 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館 |

平山 東子さん 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館



この度、東アジア文化都市事業の一環として「平和への祈り—平山郁夫」展が鎌倉の地で開催されたことを大変意義深く感じています。展示に多言語表記を取り入れることで、アジアやシルクロードをテーマに異文化交流を続けてきた平山郁夫が、生涯をかけて伝えた平和と文化への敬意をさまざまな国の人々と共有することができました。世界情勢が厳しさを増す今、文化を通じた国際交流と平和の大切さを改めて実感する機会となりました。



特別

12.12 FRI-12.16 TUE 企画展「わたしの輪郭が、やわらかくなる。」



禅の精神と鎌倉の歴史が息づく建長寺にて、株式会社ヘラルボニーとARu inc.の協働により、障害のある作家によるアート作品と光のインスタレーションが交差する体験型展示を開催しました。暗闇の中で光の明滅によって浮かび上がる作品、参加者の心拍と共鳴する光の演出は、来場者の感覚に訴えかけ、建長寺の静謐な空間とともに、アートに没入できる体験を生み出しました。初日には、オープニングトークが行われ、ヘラルボニーCo-CEO・松田崇弥さん、建長寺教学部長・山名田紹山さん、松尾崇鎌倉市長が登壇し、「ひとりひとりの『ちがひ』が響き合う社会のかたち」について語り合いました。

| | |
|---------|----------------------|
| 会 場 | 建長寺 |
| 来 場 者 | 1,286人 |
| 実 施 主 体 | 東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会 |



松田 崇弥さん ヘラルボニーCo-CEO



つい最近、「100年先の文化をつくる」という志を持って社史をつくるプロジェクトを始めたところです。未来をただ見据えるだけでなく、過去を大切にしながら一歩ずつ歩んでいくことが、建長寺や鎌倉市がいま世界から注目される場所になっていることに通じるのではないかと思います。

山名田 紹山さん 臨済宗建長寺派教学部長



アートと仏教に共通することはたくさんあると思います。ヘラルボニーの作家さんたちが持つ集中力や、何かを解き放つ力とも通じるのではないかと気がしています。特に禅というのは、経典の研究よりも日常生活の一つひとつを丁寧に、「いま、ここ」に集中することを重視しますから、その点もアートに重なる部分ではないかと思います。

松尾 崇 鎌倉市長



都市が持つ価値の中には、目には見えづらいものも多く含まれていますが、アートはそれを目に見えるさまざまな形に変換する力を持っています。これまでの歴史を振り返ると、災害や戦争といった国難の中でも、人々は常に文化芸術に生きる活力をもらいながら力強く前進してきました。文化芸術には、そういった未来を切り拓いていく力があるのだと信じています。

特別

鎌倉円覚寺 たべる。くらす。禅的生活～横田南嶺×鶴田真由～



鎌倉を代表する禅寺・円覚寺。臨済宗大本山です。

横田南嶺管長とともにこの寺を巡りながら、「禅＝生活そのもの」の真の意味を聞いていきます。訪れるのは、鎌倉生まれ鎌倉育ちの俳優・鶴田真由。横田管長との対話や坐禅などを通して、生活と共にある禅の世界を体感する動画です。



会 場 | 円覚寺

実 施 主 体 | 東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会

📺 動画はこちらから





特別

10.1 WED - 11.10 MON 「わたしの残したい鎌倉」フォトコンテスト



鎌倉の思い出(残したい鎌倉大賞)

東アジア文化都市2025鎌倉市のテーマ「千年先の鎌倉へ、はじめの一步」をコンセプトに、鎌倉の文化や歴史を未来へつなぐ「わたしの残したい鎌倉」フォトコンテストを開催しました。参加者一人ひとりが感じる様々な鎌倉の魅力を広く共有し、次の世代につなぐ新たな一面を再発見する機会となりました。また、この今回のフォトコンテストでは、ふるさと納税の返礼品を提供してくださっている地元企業の皆さまにご協力いただき、鎌倉ならではの魅力が詰まった豪華な賞品を提供しました。



集まった写真を鎌倉生涯学習センターで12月8日～21日まで展示しました。

| | |
|-----------------|---|
| 会 場 | 鎌倉生涯学習センター |
| 実 施 主 体 | 東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会 |
| 協賛企業等 (五十音順) | 株式会社青葉ギフト(未来につなげる子ども賞)、アロマ香道ラバンアジル(自然の香り体験賞)、株式会社イコールコンディション(一口食べて笑顔で賞)、有限会社稲村亭(みんなでごはん賞)、鎌倉商工会議所(やさしい人が多い街・鎌倉賞)、鎌倉テンスケ株式会社(みんなでハイボール賞)、公益財団法人鎌倉能舞台(未来に残したい鎌倉の伝統賞)、鎌倉はんこ(あなたの名前をスタンプしま賞)、鎌倉パークホテル(残したい鎌倉大賞)、鎌倉ビール醸造株式会社(みんなでビール賞)、株式会社ショコラトリーキャメル(ショコラトリーキャメル賞)、株式会社千里(鎌倉といえばお寺賞)、どんぐり工房(のんびり鎌倉の時間賞)、有限会社星月写真企画(千年先も残したい鎌倉風景賞)、有限会社松埜和菓子処茶の子(家族でおでかけで賞)、株式会社矢田七里ガ浜ラボ(残したい鎌倉の海賞) |
| 応募作品総数 | 529点 |



「わたしの残したい鎌倉」フォトコンテスト 入選作品



「わたしの残したい鎌倉」フォトコンテスト 入選作品



「わたしの残したい鎌倉」フォトコンテスト 入選作品

